

港湾緑地の使い方をみんなで考える意見交換会in新潟 開催報告

- 臨海部における賑わい創出の推進には、みなと緑地PPP制度の活用は有効な手段です。同制度の活用に向けて、地元関係者で開発方針や役割分担について議論したり、PPP制度の理解促進、取組事例の共有を図ることが必要であり、国土交通省港湾局では、(具体的な案件形成につながるような)民間事業者・港湾管理者との意見交換会を各地で開催しています。
- 令和6年8月30日、本年度第1回目となる意見交換会を新潟県新潟市で開催し、約160名が参加しました。(「港湾緑地の使い方をみんなで考える意見交換会in新潟」)
- 前日29日に、産官学によるワークショップを開催し、地元事業者の取り組みや課題、現地施設等を確認し、30日の意見交換会では、参加した大学生から、ハード面、ソフト面、防災面の観点から、よりよい事業に向けた提案を行い、その後、関係者間で意見交換をしました。
- 参加者からは、「能登半島沖地震で明らかになった来訪者の避難誘導等の課題への対応も必要」とのコメントもありました。

【港湾緑地の使い方をみんなで考える意見交換会in新潟】

- 日時: 令和6年8月30日(金) 13:00～17:00
- 場所: 朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター
- 参加申込者: 161名(民間事業者、港湾管理者、大学生等)(Web参加含む)

【議 事】

- 新潟港万代島地区での取り組み紹介
(朱鷺メッセ、ピアbandai、万代テラス、新潟海洋開発)
- 意見交換 (テーマ: 万代島地区の回遊性向上に資するみなとまちづくり)
※大学生による提案発表(新潟工科大学、東洋大学、千葉商科大学)
- みなとエリアマネジメント研究会の取り組み(PPP財団、宮古島市)
- 港湾緑地の活用に関心のある港湾(室蘭港、博多港、新潟港)
- 現地視察 朱鷺メッセ～万代テラス

【意見交換会の様子】



【ワークショップの様子】



【現地視察の様子】▶

